

親子聖書日課

NO.1725 2021.10/17-23 名前

[日]私達が「決して死ぬことがない」のは、主から永遠の命を頂いたからです。この命は「主の言葉を守る」ことによって与えられます。それは律法を守るということではありません。主の愛にこたえて、主の言葉に喜んで聴き従うことです。

[月]災いは、罪の結果だという因果応報論がありますが、主は「神の業(栄光)がこの人に現れるため」と、災いは神の恵みだと言われました。主を信じる時、災いも感謝できます。主に心の目を開いて頂き、神の栄光を現す生涯を送りましょう。

[火]伝道は難しいことではありません。聖書をよく知らなくても、「ただ一つ(自分が主に救われたこと)を知っていれば」よいのです。事実を証しするほど、説得力のある伝道はありません。大胆に証しするなら、救われる人が起こされるでしょう。

[水]「そのぐらいのことは知っている」という人は、ファリサイ派の人と変わりません。「知っているつもり」になっただけで、何が正しいことかわかっていないのです。「見える」と言い張る罪は大きい。無知を認めて、主に従うなら、真理が見えます。

[木]私達は羊に似ています。よく道に迷い、群れたがり、一人では生きていけないのです。羊飼いなる主が必要です。主は自分の命を捨てて、私達に永遠の命を与えて下さいました。大牧者である主の声に聴き従うなら、豊かに養われます。

[金]主を信じてからも色々な声が聞こえてきます。その中には、とても耳触りのよい悪魔の声もあります。どれが主の声なのか、聞き分けましょう。そのためには、絶えず御言葉に触れることです。本物に触れていると、偽物にだまされません。

[土]主を信じるとは、ただ主の復活を信じるだけではありません。自分の死後、その復活の命に与り、永遠に生きることを信じることです。これは理屈の世界ではありません。マルタのように「私は信じております」と告白することが大切です。



	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 8:48-59	主の言葉をどうするならその人は決して死ぬことはありませんか。	
月	9:1-12	生まれつき目が見えないのは、何がこの人に現れるためでしたか。	
火	9:13-34	ただ一つ知っているのは、どんなことですか。	
水	9:35-41	今、何とあなたたちは言っているから、あなたたちの罪は残りますか。	
木	10:1-21	羊のために命を捨てるのは、誰ですか。	
金	10:22-42	主の羊は、主の声をどうしますか。	
土	11:1-27	主を信じる者は、死んでもどうなりますか。	
感想と祈りの課題			